

ワックスドコットン製品の取り扱いについて

この度は弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

ワックスドコットンを使用している商品は、ガーメントバッグ等に入れるなどの保管をおすすめします。特に気温の高い時期には、淡い色の素材に直接当たらないようにしてください。直射日光の当たる場所には保管しないでください。

ご使用方法によっては、他のものにワックスが移染する可能性がありますので、取り扱いには十分ご注意ください。

高温状態になる環境に長時間保管しないでください。直接接してる場合、ワックスドコットンの表面加工や染料が他の衣類や物に付着する恐れがあります。

クリーニング方法について

ワックスドコットンの衣服は、お湯や洗剤で洗うとワックスが落ちてしまう為、下記の内容に従って洗濯をしてください。

- ・洗濯機で洗わないでください。
- ・表地が汚れた場合は、冷水をしみこませたスポンジやタオル等で砂埃や汚れなどをふき取るように落としてください。
- ・洗濯後は、直接日光の当たらない風通しの良い場所に吊るして自然乾燥させてください。
- ・石鹼、洗剤、化学溶剤、熱湯、塩素系の洗剤等で洗わないでください。
- ・ドライクリーニング、糊付け、アイロンがけはしないでください。
- ・タンブラー乾燥はしないでください。
- ・暖房器具の上に衣服を置いたり、火を当てたり、過度の熱風で乾かさないでください。

メンテナンスについて

ワックスドコットンの補修の頻度は、使用回数や用途によって異なります。カジュアルな使い方をされる方や、天候や風、摩耗などの過酷な条件下で使用される方もいらっしゃいます。ワックスドコットンの性質上、肩や縫い目、ポケット、袖のシワ、ズボンの内股や膝など、常に摩擦を受ける部分はワックスが徐々に乾き、表面の処理がとれていきます。

その為に、ワックスの撥水効果、表地の風合いを維持するために定期的なメンテナンスをお勧めします。特に乾燥した部分や擦り切れた部分、撥水性が失われた場合の再補修として、衣類用のワックスを塗ることをお勧めします。

衣類にワックスを浸透させるには、手やコットンの布を使うことをお勧めします。手で作業する場合は体温でワックスが緩むので、生地になじみ易くなります。縫い目、シワなどに注意しながら、衣類によくなじませてください。さらに滑らかな手触りにするために、全体にかかるくドライヤーを当てることで、ワックスの広がりを均等にすることができます。完全に乾くまでは比較的暖かい場所で一晚、他の衣類と接触しないように吊るしてください。